

平和新聞

発行 日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

学習し交流し仲間も増えた平和大会

「日本平和大会 in 富士山」が10月31日と11月1日、静岡県御殿場市で開催され、大阪から28人が参加。大会後、畑田重夫代表理事と懇談した母親連絡会の女性ひとりが会員・新聞読者となつてくれました。以下、参加した2人の感想を紹介します。

青年学生部・中村翔さん

青年3人で参加してきました。はじめに、新幹線三島駅前です。スに乗り、キャンプ富士という米軍基地のある「東富士演習場」ウオッチングに出かけました。同演習場は山手線がすっぽり入るほどの広さを持ち、静岡が面積比全国第3位の「基地県」であることを実感しました。

次に開会集会。全国から1100人が参加し、沖繩や静岡、神奈川県などの県代表や青年たちが戦争法案反対運動や米軍基地建設や強化に反対する活動について力強く発言しました。主催者報告は、「『海外で戦争する国』づくりが進められる中で、いまこの道を転換することが、切実に求められています。名護市辺野古での新基地建設反対のたたかいに象徴されるように、日本の新しい平和の道を模索する流れが広がっています。こうした豊かな展望を大いに語り、『米軍基地もない軍事同盟もない、憲法の輝く新しい日本』への流れを広げていくことではありませんか」と呼びかけました。



右端が中村翔さん

きました。また海外代表のイ・ミヒョン(韓国・参与連帯平和軍縮センター所長)が連帯の挨拶をしました。夜は全国の若手で集まり、交流会を行いました。

西淀川・中村玉枝さん

全体会では、総がかり行動の水雅彦教授の「戦争法案反対の運動の高まりは、中央での共同の結果だが、地方ではどうだったか?」という問いかけ、「現憲法下でも自衛隊合憲とする人や改憲派が増えていく状況に危機感を持っている」「軍事研究者が亡くなっている」といって、継承者の育成が課題」という発言が印象的だった。バクレー氏の富士演習場の映像は、見学中止となった分堪能できたし、「ザ・思いやり」の上映運動はやる気満々になりました。各地の闘いの報告では、大阪、西淀川には感じられない基地や自衛隊の動きをリアルに知ることが出来て、参加した意義を実感しました。二日目は、日常生活では自衛隊を意識する場面がないので、分科

会「自衛隊はどう変わるうとしてるか」に参加しました。内藤功氏は、国会での共産党議員の内部文書発表から戦争法の問題点を話され、「自衛隊問題」をもっと勉強しないとけないと反省しました。元自衛官の島袋氏の双子の兄の自衛隊訓練中の事故死亡についての報告は、全体会の追加報告でしたが、戦争責任を問わないでできたツケというか、戦前の軍隊精神の亡霊が復活したような気がして気分不良になりました。育鵬社の教科書問題では、大阪も採択されてショックでしたが、横浜の方から「付帯決議で副教材では他社教材も使えるとしたのはすごいよ」なんて言われて、不十分な運動でもやっとしていたので変な気持ちでした。「憲法を武器に」「憲法は裁判でなく、くらしの中で使おう」というまとめには納得でした。閉会集会は中央公園であり、青年のコールを先頭に12000人の隊列が御殿場駅まで続きました。来年は三沢基地のある青森開催なので、今からコツコツ貯めて参加しようと呼びかけました。私が参加するようになって初めて西淀川から2人が参加できました。

さらば「維新政治」大阪平和も連日街宣

大阪平和委員会は11月22日投票の大阪府知事・市長W選挙に勝利し大阪に民主主義と地方自治を取り戻そうと、他の平和友好団体と連日街宣に取り組んでいます。大阪平和委員会の担当は、地下鉄谷町9丁目駅。時間は木曜日を除く週日午後2時〜3時。街宣スタイルは「さよなら維新政治」のポテッカードを前に各種の大型ステッカーを後ろにさげるスタイル。11月11日は、関西旅行中の静岡県平和委員会の小林さんと東京の友人二人が参加してくれました。宣伝への往復時に生玉神社や近松門左衛門の墓など観光案内しながらの街宣行動となりました。11月16日は滋賀県平和委員会の木村さんの支援も得て4人で実施。紙メガホンで「知事には栗原貴子、市長には柳本顕」と連呼していたところ、向かい側の道路に止まった柳本顕候補の宣伝カーから男性運動員が降りて横断歩道を渡り、「ご支援ありがとうございます」と感謝される一コマもありました。投票日前日の21日は、関西各府県からの応援を得て午前10時から午後2時から事務所周辺の路地裏を歩き両候補支持への最後の訴えコールをする予定です。



自衛隊八尾駐屯地 エアフェスタ監視

10月25日「エアフェスタ2015」が、自衛隊八尾駐屯地で開催されました。八尾平和委員会の呼びかけに比べ女性10人が参加。「戦争法」成立直後ということもあり、例年と違って隊員たちの家族を含め参加者全体に「お祭り」ムードが感じられない記念行事でした。参加者の感想を紹介します。「会場で外国に訓練に行つたという若い隊員に聞いたら『戦争にはいきたくない』との返事だった。自衛隊員は絶対に戦争に行かせてはだめですね」(大野嘉代子さん)。「見学した『広報展示室』には、すでに南スーダンとかに派遣されていると展示がしてあった」(間野窪民子さん)

師走の行事案内

6日(日) 和歌山戦跡めぐりバスツアー *残席有

17日(木) 能勢もち入荷

18日(金) 「ザ・思いやり」上映・リラン・バクレー監督のトーク

18:30

男女共同参画センター

資料代 500円

二面にチラシ



ミサイル発射装置

上羽事務局長沖繩入り 会議参加・座り込み支援

《安保中央全国代表者会議》

全国代表者会議（安保放棄中央実行委員会主催）が11月7日と8日、那覇市内で開かれまし
た。これには、来年の沖縄3大
選挙（1月宜野湾市長、春の県議
会、夏の参議院）に勝利し、名護
市辺野古新基地建設を阻止する
運動に大きなはげみをつけよう
と19都府県から65人が参加。

会議では、シムラ恵一郎・宜
野湾市長選、伊波洋一・参議院
沖縄選挙区両予定候補、仁比聡
平・日本共産党参議院議員が来
賓挨拶をしました。仁比議員は、

10月25日の宮城県議選で共産
党議席が倍増した「宮城ショツ
ク」に続き、3大選挙に勝利し
て辺野古新基地は許さないとい
う「オール沖縄」の民意を示そ
うと呼びかけました。仲山忠克
弁護士は、翁長知事による公有
地水面埋め立て承認の取り消し
表明に伴う辺野古新基地をめぐ
る法的たまたかについて報告。
瀬長和男・沖縄県統一連事務局
長は、キャンペーンシュワブゲー
ト前の座り込みを暴力的に排除し
ようと座り込み参加者数を上回
るほどの警視庁機動隊（国民の
税金を使って高級リゾートホテ
ルに宿泊！）が東京から動員さ
れていると告発し、県外からの
座り込み支援の強化を訴えまし
た。渡久地修・日本共産党沖縄
県議は、翁長知事による訪米は
下院議員15人との懇談など成果
を残したと報告。

このあと、参加者は全国各地
の沖縄連帯や戦争法案反対運動
について活発な討論と交流を行
いました。大阪平和委や大阪安保
から参加した4人も毎月実施し
ている「沖縄連帯15日行動」や
大阪若者沖縄支援ツアー（来年
2月実施予定）などについて発
言し討論に加わりました。

《二つの座り込み抗議行動》

8日会議終了後、参加者はバ
スで、右翼の宣伝カー数台が大
音量スピーカーでがなりたてる
中キャンペーンシュワブゲート前
に到着。右翼が去った後テント前
で紹介されてから地元の人と一
緒に座り込み。休日のため工事
車両の出入りはありませんでし
たが、午後4時前ゲート前に移
動しプラカードを掲げてミニデ
モ行進をしました。

9日は、米軍ヘリパッド（ヘリ
コプター着陸帯）工事阻止のた
め座り込みをしている東村高江
の現場（N1テント）までバス
で行き、伊佐真次・日本共産党
東村議員の説明を聞いた後、座
り込みに参加しました。

《本休工事は着手はワン》

今回現地に行きわかったこ
とは、10月29日沖縄防衛局が埋
め立て本休工事に着手したと発
表したけれども、実際はヤード
をつくるまねをしたりしている
だけで、「猛反対しても無理」
という無力感を醸成するのが狙
いの嘘であるということでした。
翁長知事と稲嶺名護市長の行

政権限とそれを支持している沖
縄県民と全国の運動が本休工事
を阻止しています。
全国からの沖縄連帯支援を強
化しましょう。



シュワブゲート前

正月もちのご注文を！

《能勢ナイキ基地反対運動
にゆかりの餅》

○1袋 (1kg) —1480円

*もちの個数20~22個

*10袋注文の場合1袋1280円

○入荷日—12月17日(木)

○申し込み方法—所定の申込用紙に必要
事項を記入し大阪平和委員会へFAX送
付。電話での注文も受け付けます。



今月の言葉 「人間関係を大切に」

「老後が見えてきた 50代後半からは配偶
者や子ども、家族、友人などの周囲の人間
関係を大切にしたい。要するに、経済優先
の生活から人のつながりを中心にした生活
に、価値観をソフトチェンジしていく必要
がある。それがやがて、自分自身を救うセ
ーフティネットとして機能することになる
だろう」（『下流老人 一億総老後崩壊の
衝撃』藤田孝典著 朝日新聞出版）

関西初上映！ ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」

一人のアメリカ人が米軍への思いやり予算の実態を映画化…衝撃の問題作



日本の経済が困難な状況の中で、日本人がここまでアメリカ軍を思
いやらなければならないのでしょうか？ 34年以上もの間、アメリカと
の条約においては一切義務付けられてない「思いやり予算」は、
日本人が自ら働いて支払っている税金からアメリカ軍へ34年
間で6兆円以上が投入され、年間、米兵一人当たり1300万円
という膨大な額を支給し、アメリカ軍人の贅沢な生活を支援
するためにほとんどが使われているのです。
この映画では、米軍への「思いやり予算」の不条理さと矛盾を
提示し、様々な視点から日本国民に問いを投げかけていきます。

知ッテイマスカ？

日本の税金が在日米軍のために使われていることを
在日米軍家庭のための住宅、小・中学校、教会、銀行、ゴルフ場、
マクドナルドなどの施設に税金が使われていることを。

電気、水道、ガス料金は使い放題、遊びでも有料道路料金が
すべてタダだということ。

米兵による凶悪・暴行事件の賠償金にも使われていることを。

6兆円を超えるわたしたちの税金がすでに使われていることを。

監督プロフィール:Leland Buckley
リラン バクレー(1964年アメリカ生まれ) テキサス州ヒューストン出身1980年、高校1年生の時に
初めて来日し埼玉でホームステイ。歴史を専攻し高校の社会科の教員資格を取得。アメリカで大学院修了後、
日本の大学院で文部省の大学院研究員として日本文学を専攻。1995年に天野文子氏の広島原爆日記を
英訳し、原爆地下50年に、アメリカに天野氏と数人でアメリカ各地を訪ね、テレビ、ラジオ番組等で
原爆禁止をアピール。他にも、地産地消、食糧やエネルギー自産に興味を持って活動。
「ザ・思いやり予算」ドキュメンタリー映画制作中。2013年の秋に公開予定。青山学院大学で英語講師。
英会話スクール経営。2013年夏から、矢白別演習場から普天間まで、6年間かけて歩く計画。神奈川県在住。
家族は妻、長男、次男の4人。

12月18日(金) 18:30~

吹田市男女共同参加センター

06・6388・1451

バクレー監督のトークあり

資料代500円 主催 大阪平和委員会

